

報 告 書

件 名 : 材 料 試 験

R C - 3 0 (アスファルト不使用)

令和 8 年 5 月

合 同 砕 石 株 式 会 社

材 料 試 験
RC-30

試 験 報 告 書

令和 8 年 5 月

有限会社  コーポレーション

§ 1 . ま え が き

本報告書は、京都府福知山市大江町千原地内に所在する
“合同砕石株式会社”において製造されるRC-30（再生クラッシュラン）の試験結果を報告するものである。

§ 2 . 試 験 概 要

工 事 名 称 :


工 事 場 所 :

試 験 期 間 : 令和 8年 4月17日～令和 8年 5月18日

生 産 地 : 京都府福知山市大江町千原地内

生 産 会 社 : 合 同 砕 石 株 式 会 社
TEL 0773-56-0465

生 産 材 料 : RC-30（再生クラッシュラン）

試 験 会 社 : 有 限 会 社 コーワプランニング
TEL 0773-40-1805
田中 邦明 

§ 3 . 試 験 方 法

日本産業規格（JIS）、舗装調査・試験法便覧等の試験方法に準ずる。

§ 4 . 試験項目

再生路盤材における必要試験及び規格値を下記に示す。

必要試験（RC，RM）

材料の承諾項目	試 験
① 使用材料の種類	再生材
② 粒度	フルイ分け試験
③ 修正CBR	修正CBR試験
④ 最大乾燥密度	突固め試験
⑤ PI	液性・塑性限界試験
⑥ すり減り減量 (※セメントコンクリート再生骨材)	ロサンゼルス試験

※ () 内の材料のみ試験を行う。

規 格 値

項 目	規 格 値	
	RC	RM
修正CBR	20%以上(30%以上)	80%以上(90%以上)
PI	6以下	4以下
備 考	ASコンクリート再生骨材を含む場合で、()内は上層路盤と基層・表層の合計厚さが下記に記載の値より小さい場合に適用する。北海道地方、20cm、東北地方、30cm、その他の地域、40cm。尚、40℃でCBR試験を行う場合は通常値を満足すればよい。	
	()内はASコンクリート再生骨材を含む場合。但し40℃でCBR試験を行った場合は80以上とする。	

参考文献

社団法人 日本道路協会

「舗装再生便覧」(平成22年版)

平成22年11月30日 22年版

試 験 結 果 一 覧 表

試 験 項 目	試 験 結 果		規 格 値
材 料 名	再生クラッシュラン R C - 3 0		—
フルイ分け試験 (JIS A 1102)	別 紙 参 照		粒径加積曲線図に示す
単位容積質量試験 (JIS A 1104)	1.34 kg / ℓ 実 積 率 : 74.5 %		—
密 度 試 験 (JIS A 1110)	表乾密度	2.07 g / cm ³	—
	見掛密度	2.47 g / cm ³	
	絶乾密度	1.80 g / cm ³	
吸 水 率 試 験 (JIS A 1110)	15.07 %		—
スリヘリ試験 (JIS A 1121)	39.2 %		再生骨材 50%以下
液性 } 限界試験 塑性 } (JIS A 1205)	液性限界	N P	簡易舗装9以下 アスファルト舗装6以下 (塑性指数)
	塑性限界	N P	
	塑性指数	N P	
突固めによる 締固め試験 (JIS A 1210)	最大乾燥密度	1.545 g / cm ³	—
	最適含水比	21.0 %	
修正 C B R 試験 (JIS A 1211)	17 回	45.1	20以上 (30以上) ※20%以上30%未満 (30%以上40%未満) (等値換算係数0.20) 30%以上(40%以上) (等値換算係数0.25)
	42 回	115.1	
	92 回	228.1	

[注] アスファルトコンクリート再生骨材を含む路盤材料で、
温度の影響に対する措置が必要な箇所には、修正 C B R の
基準値に () 内の数値を適用する。

産 地 : 京都府福知山市大江町千原地内

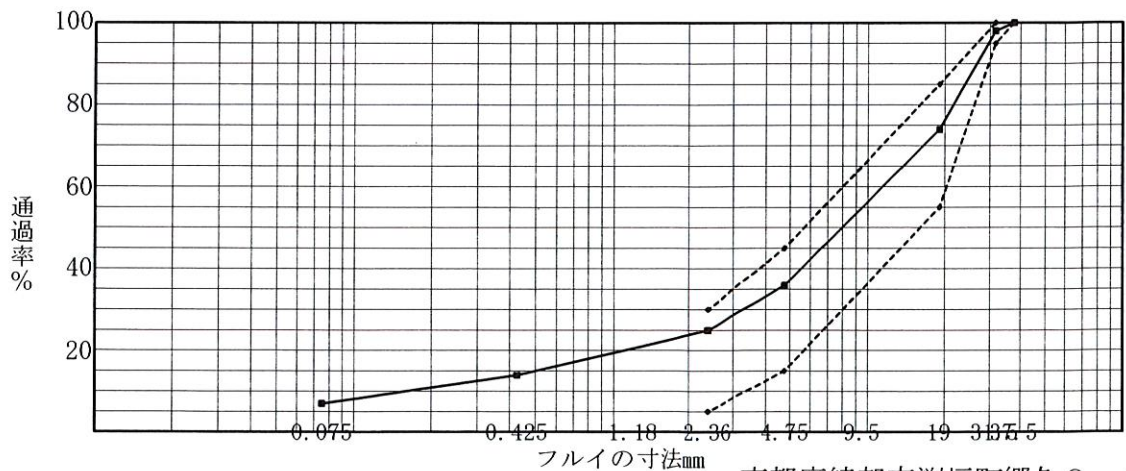
合 同 砕 石 株 式 会 社

骨材試験結果報告書

依頼業者名 : 合同砕石 株式会社			
材 料 : RC-30			
採取場所 : 京都府福知山市大江町千原小字江口地内			
産 地 : 同上			
試験期間 : 令和8年4月17日 ~ 令和8年5月18日			
試 験 項 目	試 験 方 法	試 験 結 果	
ふるい分け	粗粒率	JIS A 1102	-
単位容積質量	kg/ℓ	JIS A 1104	1.34
	実積率 %		74.5
密 度	表乾 g/cm^3	JIS A 1110	2.07
	見掛け g/cm^3		2.47
	絶乾 g/cm^3		1.80
吸水率	%	JIS A 1110	15.07
すりへり減量	%	JIS A 1121	39.2
コンシステンシー	液性限界 %	JIS A 1205	NP
	塑性限界 %		NP
	塑性指数		NP
突き固め	最大乾燥密度 g/cm^3	JIS A 1210	1.545
	最適含水比 %		21.0
修正 CBR 試験	突き固め回数	JIS A 1211	45.1
	回数		115.1
	(%)		228.1
	ρ_{dmax} 95%に対する CBR 値 %		117.6

ふるい分け

ふるいの寸法	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	0.425	0.075
通過量(%)	100	98	92	74	61	52	36	25	20	14	7



京都府綾部市湊垣町郷久9-2
 有限会社 コーワプランニング
 TEL : 0773 (40) 1805
 FAX : 0773 (40) 1804

実験名 骨材のふるい分け試験 JIS A 1102

試験日 令和8年4月21日 火曜日 天候 晴れ

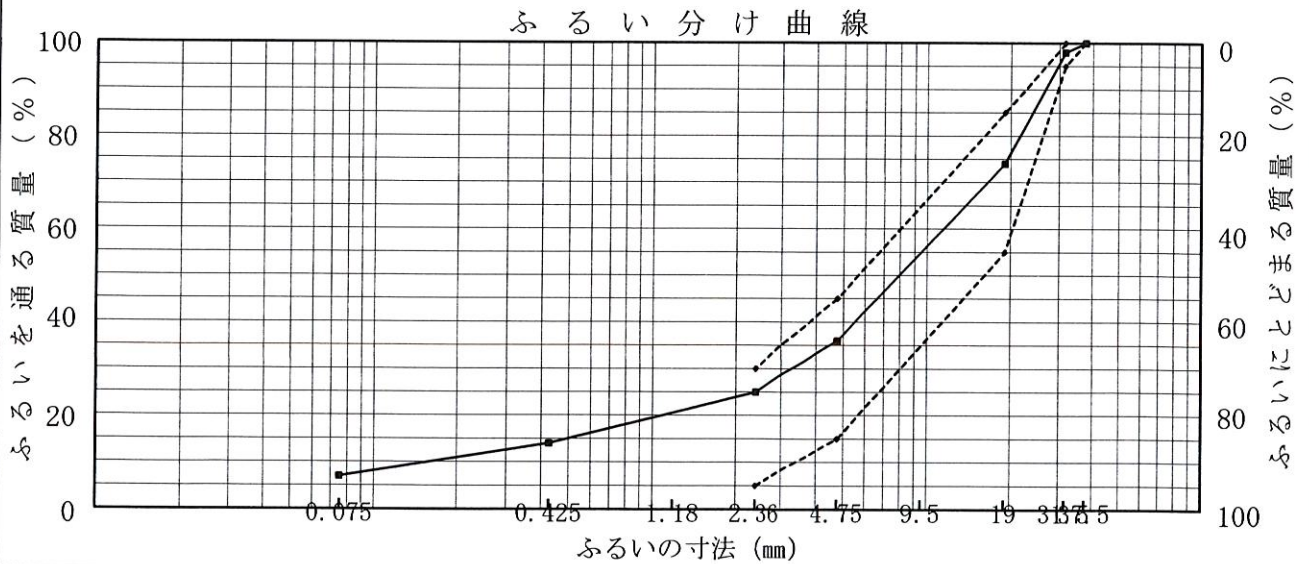
試験日の状態 室温 (°C) 20 湿度 (%) 40

試料 RC-30

公称目開き	呼び寸法	各ふるいにとどまる量の累計 (g)	各ふるいにとどまる量の累計 (%)	各ふるいにとどまる量 (g)	各ふるいにとどまる量 (%)	ふるいを通る量 (%)	C-30の粒径範囲
37.5	40	0.0	0	0.0	0	100	100
31.5	30	111.6	2	111.6	2	98	95 ~ 100
26.5	25	502.8	8	391.2	6	92	
19	20	1,676.8	26	1,174.0	18	74	55 ~ 85
13.2	13	2,502.6	39	825.8	13	61	
9.5	10	3,113.9	48	611.3	9	52	
4.75	5	4,187.5	64	1,073.6	16	36	15 ~ 45
2.36	2.5	4,889.6	75	702.1	11	25	5 ~ 30
1.18	1.2	5,213.6	80	324.0	5	20	
0.425	0.4	5,600.1	86	386.5	6	14	
0.075	0.075	6,068.0	93	467.9	7	7	

全質量 6,536.5

最大寸法 (mm) 31.5 粗粒率 -



考察

実験者 所属 有限会社 コーワプランニング
氏名 田中 邦明



実験名	骨材の単位容積質量および実積率試験			JIS A 1104
試験日	令和8年4月29日 水曜日			天候 曇
試験日の状態	室温 (°C)	湿度 (%)	水温 (°C)	
	21	65	18	
試料	RC-30			

試料の詰め方	棒突き試験 (30回3層突き固め)	容器容積	10ℓ容器	
測定番号	細骨材		粗骨材	
	1	2	1	2
①	容器の容積 (ℓ)		10	10
②	試料と容積との質量 (kg)		17.527	17.409
③	容器質量 (kg)		4.072	4.072
④	試料重量 ②-③ (kg)		13.455	13.337
⑥	含水量測定のための試料の乾燥前の質量 (g)			
⑦	含水量測定のための試料の乾燥後の質量 (g)			
⑧	単位容量質量 $\frac{④}{①}$ または $\frac{④}{①} \times \frac{⑦}{⑥}$ (kg/ℓ)		1.35	1.33
⑨	平均値からの差 (kg/ℓ)		0.01	
⑩	平均値 (kg/ℓ)		1.34	
⑪	表乾密度 (g/cm ³)		2.07	
⑫	吸水率 (%)		15.07	
⑬	実積率 $⑩ \times \frac{100 + ⑫}{⑪}$ (%)		74.5	

考察

平均値からの差は 0.01kg/ℓ 以下でなければならない。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

実験者	所属	有限会社 コーワプランニング
	氏名	田中 邦明 

調査件名

試験年月日 令和 8年 4月 29日

試験者 田中 邦明



試料番号（深さ） RC-30

液性限界試験

落下回数

容器 No.

含 m_a g

水 m_b g

比 m_c g

w %

落下回数

容器 No.

含 m_a g

水 m_b g

比 m_c g

w %

塑性限界試験 ヒモ状にならず試験不能

容器 No.

含 m_a g

水 m_b g

比 m_c g

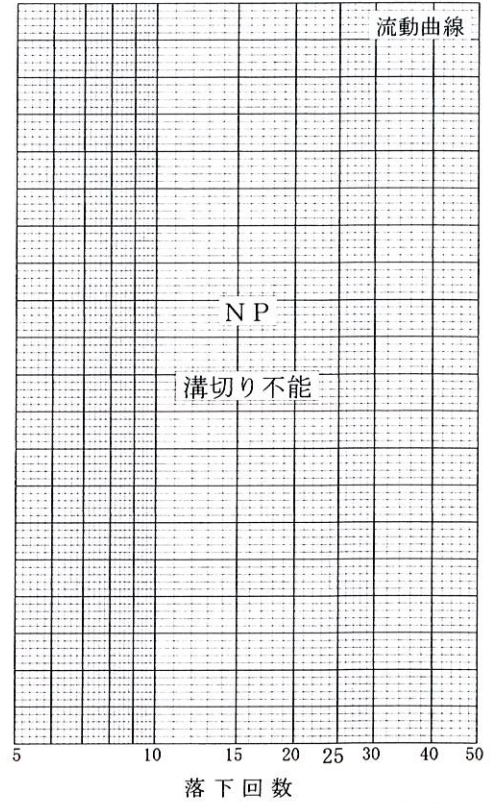
w %

液性限界 w_L % 塑性限界 w_p % 塑性指数 I_p

NP

NP

NP



試料番号（深さ）

液性限界試験

落下回数

容器 No.

含 m_a g

水 m_b g

比 m_c g

w %

落下回数

容器 No.

含 m_a g

水 m_b g

比 m_c g

w %

塑性限界試験

容器 No.

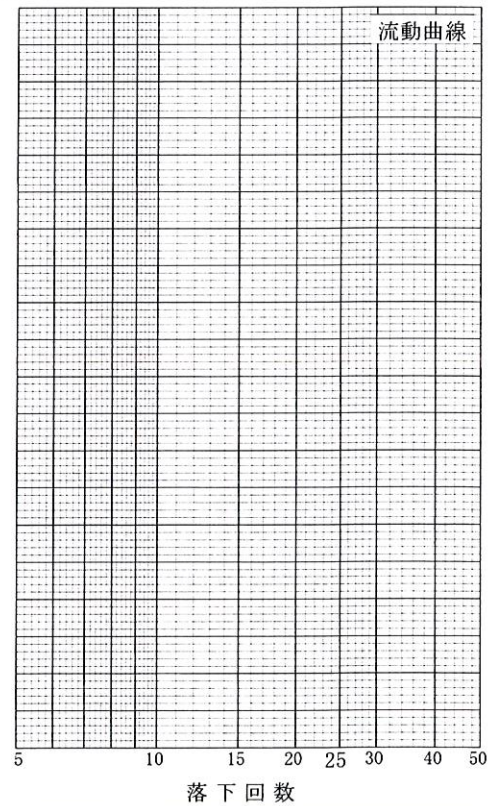
含 m_a g

水 m_b g

比 m_c g

w %

液性限界 w_L % 塑性限界 w_p % 塑性指数 I_p



特記事項

調査件名

試験年月日 令和 8年 4月 29日

試料番号（深さ） RC-30

試験者 田中 邦明



試験方法	E-b	土質名称	再生クラッシュラン			
試料の準備方法	乾燥法, 湿潤法	ランマー質量 kg	4.5	モ	内径 cm	15
試料の使用法	繰返し法 , 非繰返し法	落下高さ cm	45	ー	高さ ¹⁾ cm	12.50
含水比	試料分取後 w_0 %	突固め回数 回/層	92	ル	容量 V cm ³	2209
	乾燥処理後 w_1 %	突固め層数 層	3	ド	質量 m_i ²⁾ g	4928
測定 No.	1	2	3	4		
(試料+モールド) 質量 m_2 ²⁾ g	8489	8635	8841	9029		
湿潤密度 ρ_s g/cm ³	1.612	1.678	1.771	1.856		
平均含水比 w %	13.7	16.2	18.5	20.4		
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.418	1.444	1.495	1.542		
容器 No.	82	12	56	38		
含	m_a g	1264.7	1282.8	1289.2	1345.2	
	m_b g	1134.0	1130.9	1115.4	1145.1	
	m_c g	168.1	176.0	175.2	173.9	
水	w %	13.5	15.9	18.5	20.6	
比	容器 No.	1	27	63	18	
	m_a g	1300.5	1269.7	1250.5	1364.6	
	m_b g	1163.0	1115.6	1081.4	1165.2	
	m_c g	174.4	173.1	169.3	175.0	
	w %	13.9	16.4	18.5	20.1	
測定 No.	5	6	7	8		
(試料+モールド) 質量 m_2 ²⁾ g	9068	9031				
湿潤密度 ρ_s g/cm ³	1.874	1.857				
平均含水比 w %	22.8	25.5				
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.526	1.480				
容器 No.	17	44				
含	m_a g	1310.3	1280.7			
	m_b g	1097.6	1057.8			
	m_c g	175.5	174.4			
水	w %	23.1	25.2			
比	容器 No.	23	68			
	m_a g	1297.3	1255.4			
	m_b g	1091.2	1033.1			
	m_c g	173.7	168.4			
	w %	22.5	25.7			

特記事項

$$\rho_d = \frac{\rho_s}{1 + w/100}$$

調査件名

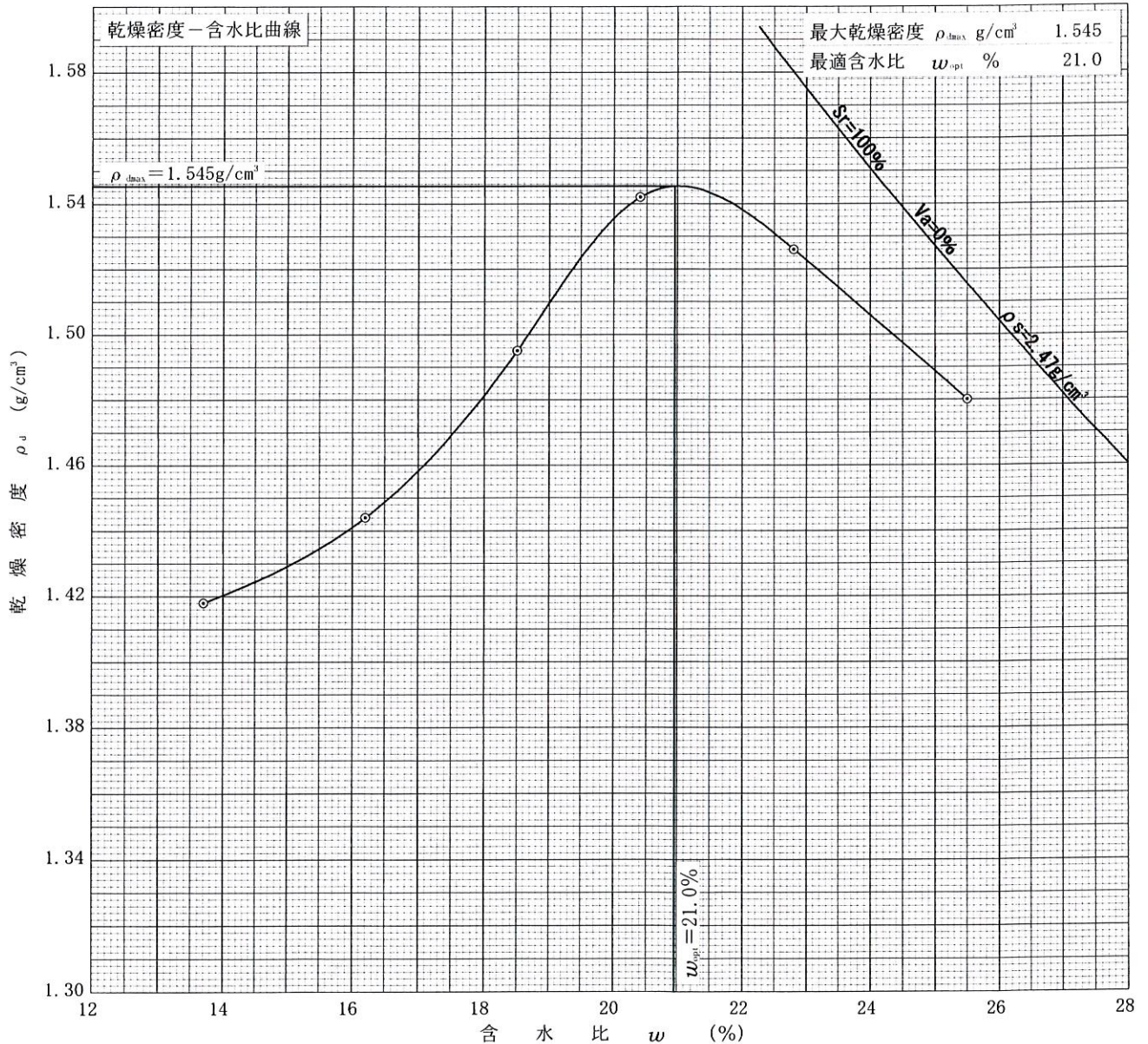
試験年月日 令和 8年 4月 29日

試料番号 (深さ) RC-30

試験者 田中 邦明



試験方法	E-b		土質名称	再生クラッシュラン				
試料の準備方法	乾燥法, 湿潤法		ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.47		
試料の使用法	繰返し法 , 非繰返し法		落下高さ cm	45	試料調製前の最大粒径 mm	37.5		
含水比	試料分取後 w , %	-	突固め回数 回/層	92	モールド	内径 cm	15	
	乾燥処理後 w , %	8.8	突固め層数 層	3		高さ ¹⁾ cm	12.50	
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 w %	13.7	16.2	18.5	20.4	22.8	25.5		
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.418	1.444	1.495	1.542	1.526	1.480		



特記事項

1) 内径15cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。

ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho_w}{\rho_w/\rho_s + w/100}$$

調査件名

試験年月日 令和 8年 5月 8日

試料番号 (深さ) RC-30

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュヤラン		
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	自然含水比 w_n %	-		
試料準備	準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数	回/層	17	最適含水比 w_{opt} %	21.0	
	空気乾燥前含水比 %	-	突固め層数	層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	1.545	
	試料調製後含水比 w_0 %	21.3	モールド内径	cm	15	荷重板質量	kg	5.0
			モールド高さ	cm	12.5	モールド容量 V	cm ³	2209
供試体 No.		1		2		3		
含	容器 No.	80	55	80	55	80	55	
	m_s g	1299.9	1343.3	1299.9	1343.3	1299.9	1343.3	
水	m_w g	1104.1	1136.9	1104.1	1136.9	1104.1	1136.9	
	m_e g	174.9	175.9	174.9	175.9	174.9	175.9	
比	w_i %	21.1	21.5	21.1	21.5	21.1	21.5	
	平均値 w_i %	21.3		21.3		21.3		
密	(試料+モールド) 質量 m_2 g	7764		8559		8557		
	モールド質量 m_1 g	4021		4850		4824		
	湿潤密度 ρ_i g/cm ³	1.694		1.679		1.690		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.397		1.384		1.393		
吸	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.000	0	0.000	0	0.000
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96			0	0.000	0	0.000	0
試	(試料+モールド) 質量 m_3 g	7854		8653		8644		
	膨張比 r_e %	0.000		0.000		0.000		
	湿潤密度 ρ'_i g/cm ³	1.735		1.722		1.729		
	乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.397		1.384		1.393		
平均含水比 w' %	24.2		24.4		24.1			

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_e = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_i = \frac{m_3 - m_1}{V(1 + r_e/100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + r_e/100}$$

$$w' = \left(\frac{\rho'_i}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名

試験年月日 令和 8年 5月 12日

試料番号 (深さ) RC-30

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土, 乱れた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュラン	
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	% -	
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	17	自然含水比 w_n	% -	
試験条件	水浸, 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 w_{opt}	% 21.0	
養生条件	- 日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³ 1.545
	4 日水浸		高さ ¹⁾	cm	12.5		

供試体 No.		1	2	3
吸水膨張試験	前			
	含水比 w_1	% 21.3	21.3	21.3
	乾燥密度 ρ_d	g/cm ³ 1.397	1.384	1.393
	膨張比 r_e	% 0.000	0.000	0.000
	後			
平均含水比 w'	% 24.2	24.4	24.1	
乾燥密度 ρ'_d	g/cm ³ 1.397	1.384	1.393	
貫入試験	試験後の含水比 w_2	% 22.8	22.9	22.6
	貫入量2.5mmにおけるCBR%	36.4	35.9	37.9
	貫入量5.0mmにおけるCBR%	47.2	43.1	45.1
	CBR	% 47.2	43.1	45.1

平均 C B R %

45.1

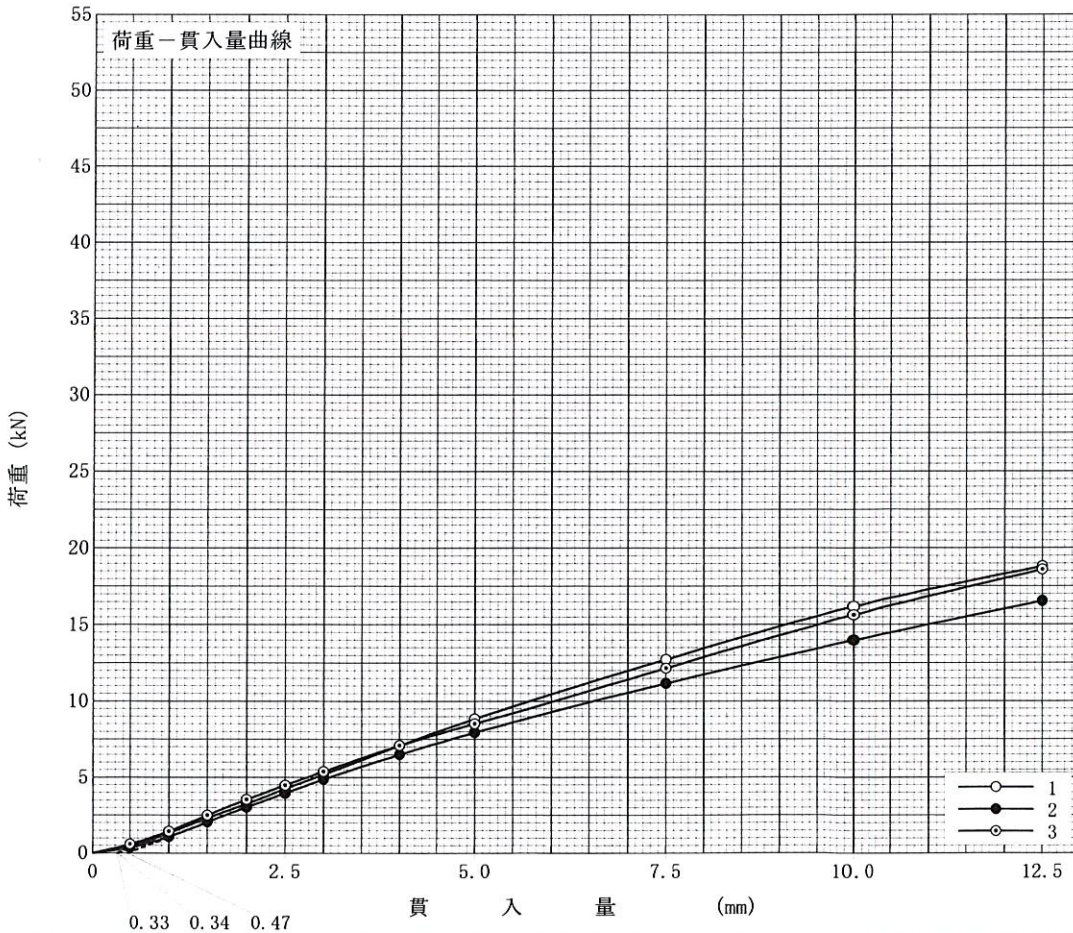
特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m² ≒ 10.2kgf/cm²]

[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
供試体 No.1	4.881	9.394
供試体 No.2	4.810	8.582
供試体 No.3	5.073	8.974
標準荷重強さ MN/m ²	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9



調査件名

試験年月日 令和 8年 5月 8日

試料番号 (深さ) RC-30

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュラン		
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	自然含水比 w_n %	-		
試料準備	準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数	回/層	42	最適含水比 w_{opt} %	21.0	
	空気乾燥前含水比 %	-	突固め層数	層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	1.545	
	試料調製後含水比 w_0 %	21.3	モールド内径	cm	15	荷重板質量	kg	5.0
			モールド高さ ¹⁾	cm	12.5	モールド容量 V	cm ³	2209
供試体 No.		1		2		3		
容器 No.		80	55	80	55	80	55	
含水比	m_s	g	1299.9	1343.3	1299.9	1343.3	1299.9	1343.3
	m_b	g	1104.1	1136.9	1104.1	1136.9	1104.1	1136.9
	m_c	g	174.9	175.9	174.9	175.9	174.9	175.9
	w_i	%	21.1	21.5	21.1	21.5	21.1	21.5
平均値 w_i %		21.3		21.3		21.3		
密度	(試料+モールド)質量 m_2	g	8734	8190	8494			
	モールド質量 m_1	g	4821	4265	4547			
	湿潤密度 ρ_s	g/cm ³	1.771	1.777	1.787			
	乾燥密度 ρ_d	g/cm ³	1.460	1.465	1.473			
吸水膨張	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.000	0	0.000	0	0.000
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		0	0.000	0	0.000	0	0.000
試験	(試料+モールド)質量 m_3	g	8782	8243	8543			
膨張比 r_e	%	0.000	0.000	0.000				
湿潤密度 ρ'_s	g/cm ³	1.793	1.801	1.809				
乾燥密度 ρ'_d	g/cm ³	1.460	1.465	1.473				
平均含水比 w'	%	22.8	22.9	22.8				

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_e = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_s = \frac{m_3 - m_1}{V(1 + r_e/100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + r_e/100}$$

$$w' = \left(\frac{\rho'_s}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名

試験年月日 令和 8年 5月 12日

試料番号 (深さ) RC-30

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土, 乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュラン
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	% -
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	42	自然含水比 w_n	% -
試験条件	水浸, 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 w_{opt}	% 21.0
養生条件	- 日空气中	モールド 内径	cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³ 1.545
	4 日水浸					

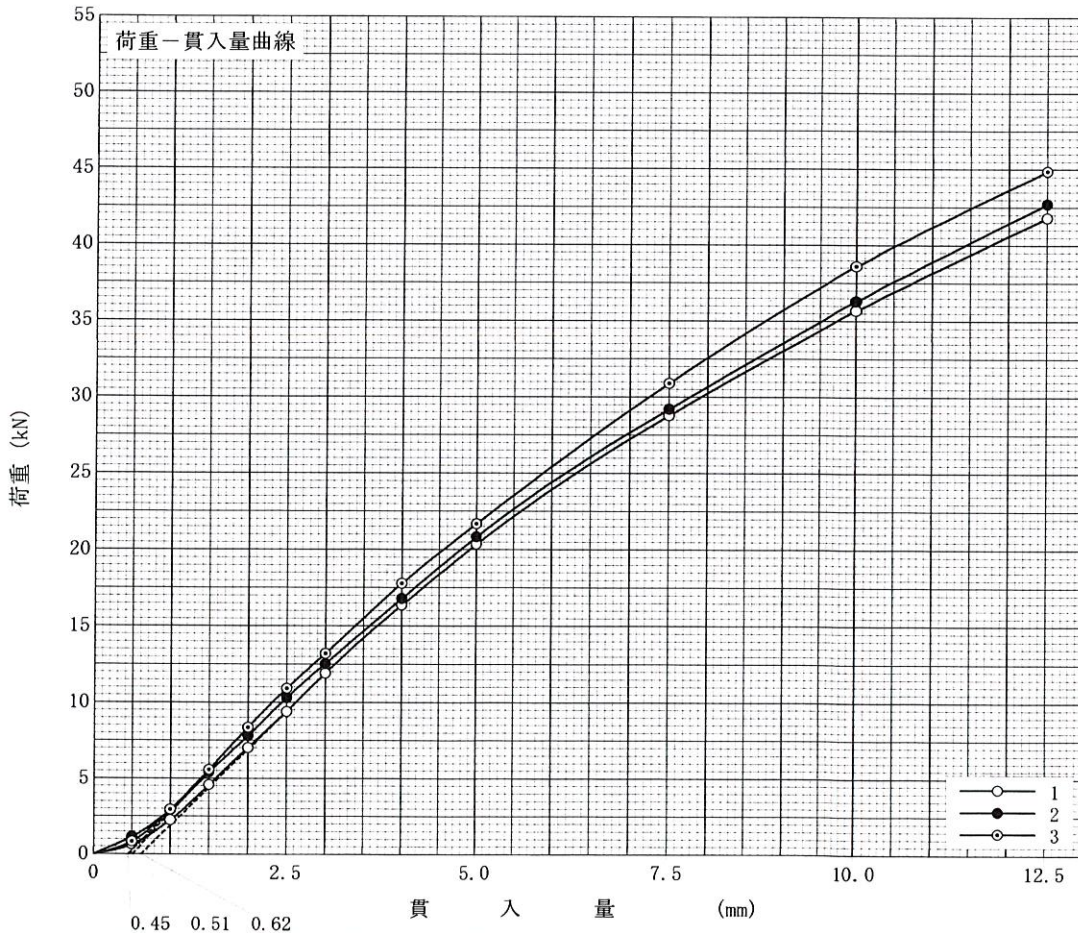
供試体 No.		1	2	3
吸水膨張試験	前			
	含水比 w_1	% 21.3	21.3	21.3
	乾燥密度 ρ_d	g/cm ³ 1.460	1.465	1.473
	膨張比 r_e	% 0.000	0.000	0.000
	後			
平均含水比 w'	% 22.8	22.9	22.8	
乾燥密度 ρ'_d	g/cm ³ 1.460	1.465	1.473	
貫入試験	試験後の含水比 w_2	% 22.0	22.2	21.9
	貫入量2.5mmにおけるCBR%	93.1	91.8	98.8
	貫入量5.0mmにおけるCBR%	113.7	113.0	118.6
	CBR	% 113.7	113.0	118.6

平均 C B R %

115.1

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m² ≒ 10.2kgf/cm²]

[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No.1	12.479	22.618
供試体 No.2	12.305	22.493
供試体 No.3	13.239	23.599
標準荷重強さ MN/m ²	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

調査件名

試験年月日 令和 8年 5月 8日

試料番号 (深さ) RC-30

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュヤラン		
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	自然含水比 w_n %	-		
試料準備	準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	92	最適含水比 w_{opt} %	21.0	
	空気乾燥前含水比 %	-	突固め層数	層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	1.545	
	試料調製後含水比 w_0 %	21.3	モールド内径	cm	15	荷重板質量	kg	5.0
			モールド高さ ¹⁾	cm	12.5	モールド容量 V	cm ³	2209

供試体 No.		1		2		3		
容器 No.		80		55		80		
含水比	m_s	g	1299.9	1343.3	1299.9	1343.3	1299.9	1343.3
	m_w	g	1104.1	1136.9	1104.1	1136.9	1104.1	1136.9
	m_c	g	174.9	175.9	174.9	175.9	174.9	175.9
	w_i	%	21.1	21.5	21.1	21.5	21.1	21.5
平均値 w_i %		21.3		21.3		21.3		
密度	(試料+モールド)質量 m_2	g	8995	8579	8944			
	モールド質量 m_1	g	4853	4464	4783			
	湿潤密度 ρ_i	g/cm ³	1.875	1.863	1.884			
	乾燥密度 ρ_d	g/cm ³	1.546	1.536	1.553			
吸水膨張	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.000	0	0.000	0	0.000
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		0	0.000	0	0.000	0	0.000
試験	(試料+モールド)質量 m_3	g	9028	8613	8974			
	膨張比 r_e	%	0.000	0.000	0.000			
	湿潤密度 ρ'_i	g/cm ³	1.890	1.878	1.897			
	乾燥密度 ρ'_d	g/cm ³	1.546	1.536	1.553			
平均含水比 w' %		22.3		22.3		22.2		

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_e = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_i = \frac{m_3 - m_1}{V(1 + r_e/100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + r_e/100}$$

$$w' = \left(\frac{\rho'_i}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名

試験年月日 令和 8年 5月 12日

試料番号 (深さ) RC-30

試験者 田中 邦明



試験方法	締固めた土, 乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	再生クラッシュラン
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	-
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	92	自然含水比 w_n %	-
試験条件	水浸, 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 w_{opt} %	21.0
養生条件	- 日空气中	モールド 内径	cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	1.545
	4 日水浸					

供試体 No.		1	2	3
吸水膨張試験	前			
	含水比 w_1 %	21.3	21.3	21.3
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.546	1.536	1.553
	膨張比 r_e %	0.000	0.000	0.000
	後			
平均含水比 w' %	22.3	22.3	22.2	
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.546	1.536	1.553	
貫入試験	試験後の含水比 w_2 %	21.9	21.8	21.7
	貫入量2.5mmにおけるCBR%	204.1	206.6	209.6
	貫入量5.0mmにおけるCBR%	228.8	223.8	231.7
	CBR %	228.8	223.8	231.7

平均 C B R %

228.1

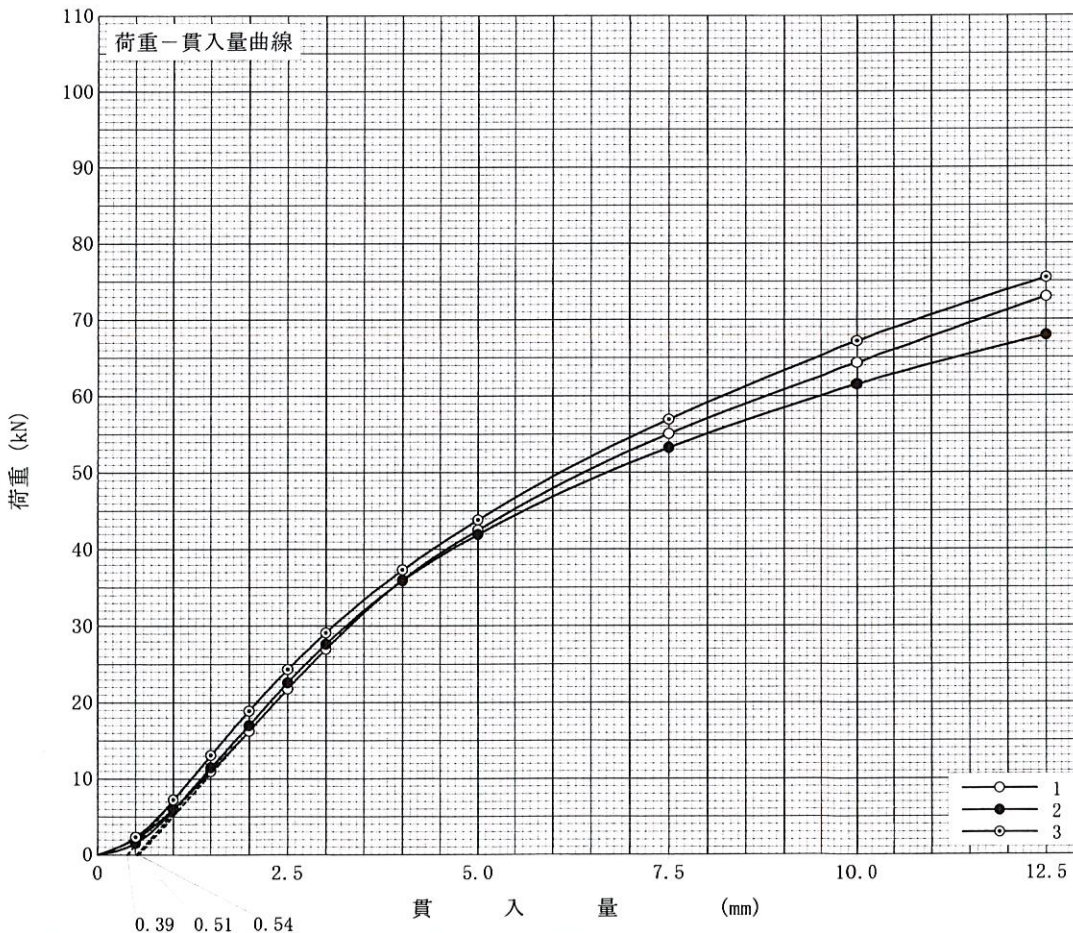
特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m² ≒ 10.2kgf/cm²]

[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
特荷		
供試体 No.1	27.353	45.525
供試体 No.2	27.685	44.527
供試体 No.3	28.092	46.099
標準荷重強さ MN/m ²	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9



修正 C B R 試 験

調査件名

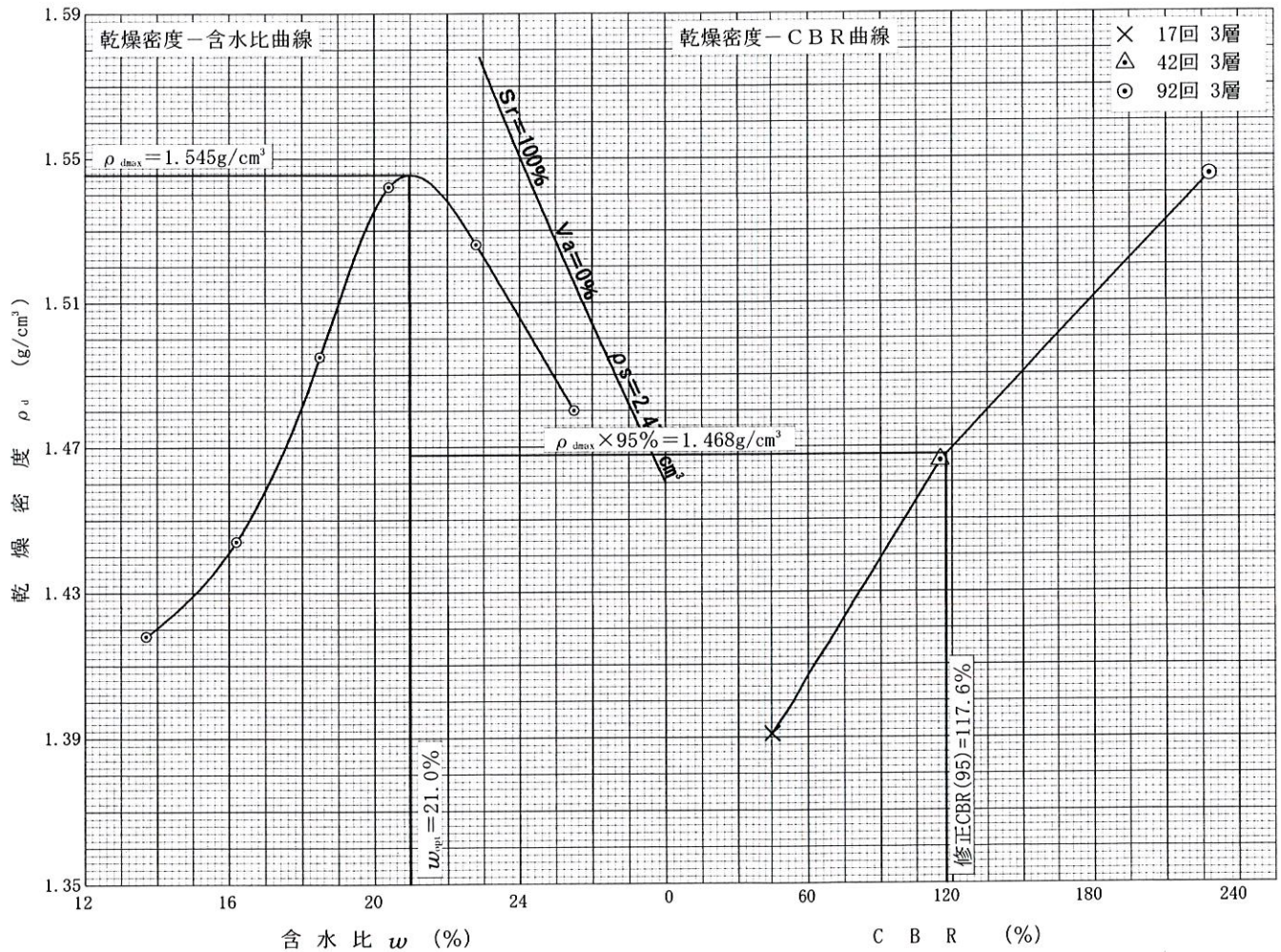
試験年月日 令和 8年 5月 15日

試料番号 (深さ) RC-30

試験者 田中 邦明



突 固 め 回 数	回/層	17	(3 層)	42	(3 層)	92	(3 層)				
供 試 体 No.		1	2	3	1	2	3	1	2	3	
乾 燥 密 度 ρ_d g/cm ³		1.397	1.384	1.393	1.460	1.465	1.473	1.546	1.536	1.553	
平 均 値 ρ_d g/cm ³		1.391			1.466			1.545			
貫入量2.5mmにおけるCBR	%	36.4	35.9	37.9	93.1	91.8	98.8	204.1	206.6	209.6	
平 均 値 %		36.7			94.6			206.8			
貫入量5.0mmにおけるCBR	%	47.2	43.1	45.1	113.7	113.0	118.6	228.8	223.8	231.7	
平 均 値 %		45.1			115.1			228.1			
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³			1.545			締 固 め 度 %			95
		最適含水比 w_{opt} %			21.0			修 正 C B R %			117.6



特記事項